

どんびま

2011年3月9日 発行
発行者 椀の湖農業小学校

まんさくの花

木曾川の支流川上川と付知川の二つの谷を隔てる山地をぬける県道の峠に、改良工事でできた新道と旧道にはさまれた小公園が作られている。

シンボルツリーの椀の木の大木や、この地方では珍しいコブシなどの中でまんさくの黄金色の花が咲いている。春一番に咲くので「まず咲く」から転じて名がついたと言われている。

開花から少し遅れて搾る我が家の新酒「春一番地」のラベルは、今は亡き古井実くんのまんさくの絵と、我夢土下座の歌う歌詞の一節である。

まんさくは裏木曾の山里に、峠の古い酒蔵に春を告げる花なのである。 (草)



3月授業日のご案内

- | | | | |
|----------------|-------------|------------|-----------------------------|
| ●日程 | 3月27日(日) | ●服装 | 作業のできる服装 |
| 受付 | 9:00~9:30 | ●持ち物 | 手袋、タオル、長靴、雨具、食器(皿、汁用椀、湯のみ)箸 |
| 入学式 | 9:30~11:00 | | エプロン、軍手(五平餅焼き用) |
| グループ紹介 | | ●昼食 | 五平餅(グループ活動の中でみんなで作ります) |
| 学校・農場の説明 | | | 豚汁など |
| グループ活動 | 11:00~12:00 | | |
| 昼食 | 12:00~13:30 | ●返信はがき締め切り | 3月23日(厳守) |
| 授業 | 13:30~15:00 | | |
| じゃがいも植え | | | |
| ほうれん草・にんじんの種まき | | | |
| 終わりの会 | 15:00~15:20 | | |

●問い合わせ・緊急連絡 TEL 0573-75-4417 ・090-5110-9362 (山内總太郎)

～とくちゃんの農小レポート～

冬期の課外授業活動報告

私立「椀の湖農業小学校」では、11月の卒業式後の活動として12～2月の3カ月間、場所を雪の少ない下野に移し課外授業として、物作り体験教室を開いています。

*12月 藁細工

注連縄（めなわ）作りをしました。

門松に飾るもの、玄関口に飾るもの、又自動車等に付ける物などそれぞれ用途にあったものを親子で協力しながら仕上げました。

*1月 凧づくり 左義長（どんど焼き）体験

凧づくりは 前年までは和凧でしたが、今回は連凧に挑戦しました。

やや大きめのダイヤ凧1個と小ぶりのダイヤ凧7個で連凧としました。しかし残念ながら小雪の舞う天候のため、揚げる事が出来ませんでした。

午後は左義長（どんど焼き）も体験しました。校長のアボ兄が集めてくれた材料を使い皆で左義長を作り、廻りを囲んで点火し、赤々と燃えあがる炎に歓声があがりました。お昼には地元の「左義長の会」の仲間に入れて頂き、しし鍋やフロフキ大根、甘酒やおにぎりなどを腹いっぱいご馳走になりました。

*2月 染物 菓子「からすみ」作り

絞り藍染めを行いました。加藤緑先生の指導により、それぞれ工夫を凝らしたステキな作品が出来上がり満足そうでした。

午後はお菓子作りを行いました。当地方に昔から伝わる蒸し菓子「からすみ」を作り、試食した後 少し持ち帰りができました。

また1月に揚げられなかった凧揚げをしました。今回は風の具合が良くて百mの糸一杯に伸ばして、お父さん凧が子供を従えての連凧が空を舞い、とても楽しくて満足そうでした。

～とくちゃんのちょっと一言～

平成17年度（18年2月まで）から始まった課外授業も5回を数えるに至りましたが、冬季であることや場所が違うことなどで、参加者が少なかったり、天気都合でキャンセルが多かったりですが、参加出来た方達からは大変好評を戴いております。

今後も出来る限り続けていきたと思っています。

講師の都合も有るとは思いますが、皆様のご要望があれば次年度からは、内容を一新しても良いかなと思っていますので、ご希望があれば早めに出してください。

恒例の夏休みキャンプの後の「物作り教室」で、時間が足りなくて未完成の物が有れば補作するのも良いかと思っています。

～安保兄の百姓ぼなし～

ジャガイモのはなし

「美味しい春が着きました！！ 新ばれいしょ（500g）198円」

いつもはスーパーのチラシなど見たことがないのに、めずらしく目にとまった。

あぼ兄の家の裏の軒下にはまだ残雪があるというのに、鹿児島ではもう穫れたのだ。二月下旬、この地方では朝夕冷え込んで、露地では野菜の育つところでない。それでも日中の陽射しは強くなり、百姓のあぼ兄は上着を脱いで農作業をしている。

毎年のことだが、二月は「今年こそは・・・」とやる気の出る月である。今年は珍しくハウスにレタス、エンドウを定植し、ダイコン、白カブを蒔いている。苗床ではキャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、キュウリなどを例年より早くから取り組んでいる。

この地方のジャガイモは三月の終わり頃に植える。早く植えても四月下旬から五月にかけて遅霜で芽に被害を受けるおそれがある。農業小学校でも入学式の午後に植えるが、標高500mだから遅霜の心配はもちろんある。

ジャガイモはタマネギと並んで食卓には欠かせない野菜。あぼ兄たちも地元の学校給食に出荷しているが、毎月の量に驚く。その料理法の多いことからみても万能食品と云える。

料理とまでは言えないが茹でて丸かじりの味は格別だ。何年か前の農小でのこと、取れたての芋をお父さんたちが食べるわ、食べるわ。ふだんは食べないのか？食べさせてもらわないのか？お母さんたちも驚いていた。昭和20年代、あぼ兄たちの子どもの頃には、サツマイモとジャガイモは空腹を満たしてくれる、欠かせない食べ物だった。

万能食品ジャガイモのルーツは1600年頃アジア各地で貿易をしていたオランダ船により、ジャワのジャカルタから長崎に入ってきたと云う。「ジャワ（ジャカルタ）の芋」が名前の由来でもあると云われている。別名の「ばれいしょ」とは「馬鈴薯」と書くように、北海道などで熊避けのために馬の首に付けた鈴のように鈴生りに穫れることから言われるようになったと云う。馬鈴薯は北海道を開拓した屯田兵の主食だったと云う。

最近、中東ドミノと言われるように、反政府運動が各地で起きている。産油国だけに目を離せない。和田和幸著の「食糧争奪戦争」によると、「石油を支配できれば国を、食糧を支配できれば人間を支配できる」という。小麦は天災を理由に18%の値上げになった。耕地がありながら休ませて輸入に頼っている日本。TPPの関税撤廃になって、安い農産物が大量に輸入されれば、国内の農業は大打撃を受け、食糧自給率はさらに下がる。国と国で問題が起きて、日本には売らないと云うような事態になれば、たちまち飢えてしまう。

飢餓人口を多くかかえている国々にとっては、さらに大変なことになる。金さえ出せば買える時代は過ぎたと言われている。それとは別に、安全性でも問題が出てくる。



アメリカではジャガイモは収穫すると、すぐ芽をださないようにするために薬をかける。この薬には癌になり易い物質が含まれていると云う。

男爵（ジャガイモの品種名）に似ているこの顔があぼ兄です。

春が来るのと、

椀の湖農業小学校で皆さんにお会いできる日を

楽しみに待っています。

～かなちゃんの虫日記～

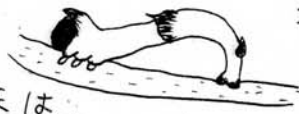
入学おめでとうございます🌸

春がやってくるとわくわくしますね。あたたかいし、あたらしい友だちができるし、なにより、おしたちがうごきたすから たのしい!!!!

冬から春にうつるいまごろには、せむ木セムキの枝をじょくりよーく見てもらいたいです。

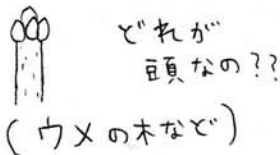
木の芽めが、ぷっくりとしてひらきたしてる、春がきたなあ……
なんて思っていたら、実はシャクトリムシの幼虫がじっととまっているところだった!! なんていう おもしろいことがたまにおこっていたりするからです。

わたしがくりの木で見たのは、体がきみどり色、豆頭まめがしらがちゃいろで、頭のうしろとせなかのまんなかあたりとうしろのあたりのうしろがちゃいろくんとんがってヒレヒレみたいになっているシャクトリムシでした。体の色とこのヒレが



もういかにも芽めでした。

シャクトリムシのなかまは いろんなものになりすましています。豆頭まめがしらが芽めのようにになっているのや、体全部で小枝こえだになりましているものもいます。



これが
豆頭まめがしらなの??
(ウメの木など)



バンザイバンザイに
とまっている
(クワの木など)

この1、2cmくらいの小さな幼虫ようちゅうは 冬の間 ずっとじっとして春をまっていた。春がきて はっぴがしけりたすと、それをたべてむくむくと大きくなります。やがてさなぎになり、さいごはカかになります。

なんでそんなことしているの?!

鳥などの敵てきに たべられたくないのや、見つからないようにかくれるからです。なりすますのが 上手なほど 敵にはばれずに生きのびれます。そしてその子どももまたなりすますのが 上手なので 生きのびます。それを何年も何年もくり返してきているので、なりすましのプロプロになれました。

みんな、すごく上手になりすましているのや、見つけることができたらとってもうれしくなれます💎